



①みる



いったんとめてね!

問題①

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・さすがに住む人のあればなるべし

解き方

あり・ラ行変格活用・已然形

- ① **特定の動詞**かどうかチェック
- ② ①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③ **後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「あれ」 → 「あり」 つまり、「**ラ行変格活用**」
- ② なし ひいきにみある/蹴る/**変格活用**
- ③ 「ば」 → 「**未然形**」 or 「**已然形**」 + 「あれ」 → 「**已然形**」 or 「**命令形**」



①みる



いったんとめてね!

問題②

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ

解き方

過ぐ・ガ行上二段活用・連用形

- ①**特定の動詞**かどうかチェック
- ②①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③**後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「過ぎ」 → 「過ぐ」 つまり、特定の動詞ではない
- ② 「過ぐ」に「ず」をつけると → 「**過ぎず**」つまり、「**上二段活用**」
- ③ 「て」 → 「**連用形**」



①みる



いったんとめてね!

問題③

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ

解き方

おはす・サ行変格活用・連用形

- ① **特定の動詞**かどうかチェック
- ② ①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③ **後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「おはし」 → 「おはす」 つまり、「**サ行変格活用**」
 - ② なし ひいきにみゐる/蹴る/**変格活用**
 - ③ 「けれ」 → 後ろの言葉がわからなくても大丈夫！
「おはし」は「**連用形**」のみの形！
- ※ 「**けり**」は「**連用形**」に接続する助動詞



② やってみる



いったんとめてね!

練習問題①

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・かばかりと心得て帰りにけり

「得」 = 下二段活用
と覚えていた人は
②を省略できて
時短になる!

心得・ア行下二段活用・連用形

解き方

- ① **特定の動詞**かどうかチェック
- ② ①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③ **後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「心得」 → 「心+得」 つまり、**特定の動詞**ではない
- ② 「心得」に「ず」をつけると → 「^え心得ず」 → 「**下二段活用**」
- ③ 「て」 → 「**連用形**」



② やってみる



いったんとめてね!

練習問題②

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・男君の来ずなりぬる、

読み方は
「こ」

解き方

来・カ行変格活用・未然形

- ① **特定の動詞**かどうかチェック
- ② ①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③ **後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「来」 → 「来」 (く) つまり、「カ行変格活用」
- ② なし
ひいきにみゐる/蹴る/**変格活用**
- ③ 「ず」 → 「未然形」



② やってみる



いったんとめてね!

練習問題③

下線部の動詞の**基本形・活用の種類・活用形**を答えよ。
(例) 住む・マ行四段・未然形

・あとまで見る人ありとは、

解き方

見る・マ行上一段活用・連体形

- ① **特定の動詞**かどうかチェック
- ② ①でない場合、**後ろに「ず」をつけて活用の種類**を見極める
- ③ **後ろの言葉**を確認し、**活用形**を判断する

- ① 「見る」 → 「見る」 つまり、「**上一段活用**」
- ② なし ひいきに**みる**/蹴る/変格活用
- ③ 「人」 → 「**名詞**」 = 「**体言**」 → 「**連体形**」